

RICOH WG-4 GPS

GPS機能活用ガイド

GPS機能をお使いの前に 2

GPS機能を使う 5

本ガイドにはRICOH WG-4に搭載されているGPS機能をお使いになるための方法や注意などが記載されています。GPS機能をお使いになる前に必ず本ガイドをお読みください。

GPS機能を使う

GPS機能をお使いになる準備

まず、「GPS測位」をオンに設定して、GPS情報（経度・緯度・高度・日時など）を取得できるようにしておきます。取得したGPS情報を撮影画像へ記録（p.6）したり、ログとして記録（p.8）、またログファイルとしてSDメモリーカードに保存（p.10）する場合や、自動時刻修正（p.14）を行うときも、「GPS測位」をオンに設定しておく必要があります。

1 「設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「GPS」画面が表示されます。

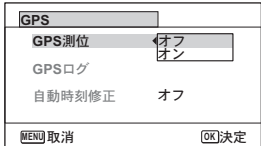
3 十字キー（▲▼）で、「GPS測位」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5 十字キー（▲▼）でオフ/オンを選ぶ

オフ：GPS情報を取得しない
オン：GPS情報を取得する



- 「GPS測位」がオン設定されていると、電源をオフにしても定期的にGPS情報の取得が行われるため、バッテリーも消耗します。バッテリー寿命の目安：約60時間（GPS測位「オン」、記録間隔「15秒」に設定、カメラ電源を「オフ」にして、連続してGPS情報の取得をした場合）
- バッテリーを交換する場合は、いったん「GPS測位」を「オフ」に設定してから、交換してください。

GPS機能をお使いの前に

GPSとは

GPSとはグローバル・ポジショニング・システム（Global Positioning System）の略で、複数のGPS衛星から送信される電波を受信して、自分の位置や時刻を計測するシステムです。現在位置を計算することを「測位」といいます。

RICOH WG-4のGPS機能でできること

撮影した静止画・動画に位置情報を記録できる

撮影した場所の経度・緯度などの情報が記録されます。同梱のソフトウェアを使うと、地図上で撮影した場所を表示することができます。

SDメモリーカードへのログの記録

定期的にGPS衛星からの電波を受信し、測位結果をログファイルとしてSDメモリーカードへ記録することができます。ログファイルはKML形式で保存されます。ログファイルをパソコン上でGoogle Earth、Googleマップなどに取り込んで、地図上に移動の軌跡などを表示することができます。

※Google、Google Earth™、Google Maps™ は、Google Inc.の商標または登録商標です。

GPS取得データを利用した時刻修正

GPS衛星から取得した時刻情報を利用して、カメラの時刻を自動で修正することができます。

電子コンパスの表示

このカメラは、撮影時の方向をカメラの画像モニター上に正確に方位表示できる「電子コンパス」機能を備えています。

GPS衛星から電波を受信しているときは、取得した位置情報を利用して、真北を基準とした方位を表示できます。取得した位置情報は、撮影した画像にも記録できます。

電波を受信していないときや、GPS機能が「オフ」になっているときは、磁北を基準とした方位を表示します。

※「静止画撮影モード 電子コンパス表示」（使用説明書・p.24）

GPS情報を撮影画像に記録する

「GPS測位」がオンに設定されていると、取得したGPS情報が、撮影画像に記録されます。

画像モニターには次のアイコンが表示されます。

	GPS情報取得中。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されていて、GPS衛星からの電波を受信しているとき
	GPS情報取得済み。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されていて、GPS衛星からの電波を受信できているとき
	GPS情報未取得。「GPS」で「GPS測位」が「オン」に設定されているが、GPS衛星からの電波を受信できていないとき
	GPSエラー。いったん電源を切り、バッテリーを入れ直してから再度、電源を入れることで、エラーが解消します。それでもが表示される場合は内蔵GPSユニットの故障が考えられますので、当社サービス窓口にご相談ください。

「GPS測位」が「オフ」に設定されているときは何も表示されません。



- 撮影画面にが表示されている場合のみ、GPS情報が撮影画像に記録されます。ただし以下の場合、撮影時の情報ではなく、前回に測位された情報が記録されることがあります。
 - インターバル撮影時
 - 電波を受信できない場所に移動するなどにより、測位ができなかった場合
- 「GPS 測位」をオンにしていると、電源をオフにしても定期的に測位動作を行うため、バッテリーも消耗します。



- 動画にGPS情報を記録する場合は、撮影開始時点の情報を記録します。
- 動画を分割した場合は、分割前の情報が表示されます。
- 動画にタイトル画像を追加した場合は、動画自体の情報が表示されます。
- での撮影時は、GPS情報が記録されないことがあります。
- GPS衛星から位置情報を取得できた場合は、電子コンパスを使って測定した方位も記録します。

取り扱い上の注意

- お買い上げ時ではGPS機能は「オフ」になっています。GPS機能をお使いになる場合は「GPS測位」を「オン」に設定してください。
- GPS衛星の位置は常に変化しているため、お使いになる場所や時間などの条件によっては、測位に時間がかかったり、測位できなかったりすることがあります。
- GPS機能をお使いになる場合は、屋外など空の開けた場所でお使いください。
- 以下のような場所ではGPS衛星から電波を受信することができなかったり、受信しにくくなることがあります。
 - 水中
 - 屋内や地下
 - トンネルの中
 - 高層ビルの間
 - 高架下や高压電線の近く
 - 密集した樹木の間
 - 1.5GHz帯の携帯電話の近く
- GPS機能を「オン」にしていると、電源をオフにしても定期的に測位を行います。病院内や飛行機の離着陸時など、電子機器の使用を禁止された場所では、必ず設定メニューから「GPS測位」を「オフ」にしてから（p.5）電源を切ってください。
- 初めてGPS機能をお使いになる場合や、長時間測位することができなかった場合、バッテリーを交換した場合などは、測位するまでに数分かかることがあります。
- このカメラのGPS機能の測地系は世界測地系（WGS84）を採用しています。
- お使いの国や地域によってはGPSの使用や位置情報を収集することなどが規制されている場合があります。海外旅行などで外国へ持ち込む場合は、GPS機能付きカメラの持ち込みやログの収集などについて制限がないか、事前に大使館や旅行代理店にご確認ください。
- 測位をしながら本機を持ち運ぶ場合は、金属製のかばんなどに入れないでください。カメラを金属製のもので覆うと測位ができません。
- 以下の場合、GPS情報を取得できません。ただし以下の条件から外れると、すぐに情報取得を開始します。
 - アラームが設定されているとき
 - USBケーブルでパソコンに接続しているとき

撮影した画像のGPS情報を確認する

1 撮影後に[▶]ボタンを押す

[▶]モードになり、撮影した画像が画像モニターに表示されます。

2 OK ボタンを何度か押して情報表示2に切り替える

取得できなかった場合は、すべて「-」で表示されます。

※取得日時は、GPS時刻（GPSシステムの基準時刻）で表示されます。カメラで設定された時刻とは一致しない場合があります。



同梱のソフトウェア「MediaImpression 3.6.2 LE」に、GPS情報が記録された画像を転送して、撮影地を地図表示させることができます（Windowsのみ）。プレビュー画面で画像を選び、「プロパティ」エリアの（場所）をクリックすると、地図表示されます。※地図表示にはパソコンがインターネットに接続されていることが必要です。

- AVケーブルまたはHDMIケーブルでAV機器に接続しているとき
- バッテリーを交換してから1分間
- このカメラのGPS機能は、個人使用のデジタルカメラ用として開発・製造されたものです。航空機や車両、人などの航法装置、また測量用としての使用はできません。これらの用途で使用したことにより損害が発生した場合の保証はご容赦ください。

GPSログを記録／保存する

設定した間隔・時間でGPS情報を取得し、ログとしてカメラ内部に記録します。

記録したログはログファイル（KML形式）として、SDメモリーカードに保存することができます。

設定した間隔・時間でログを記録する

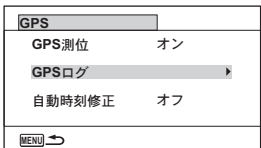
1 「設定」メニューから、十字キー（▲▼）で「GPS」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「GPS」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で、「GPSログ」を選ぶ

文字の色が薄くなって選べない場合は、「GPS測位」をオンに設定してください。

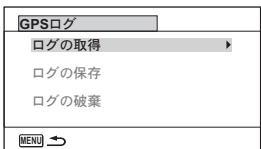


4 十字キー（▶）を押す

「GPSログ」画面が表示されます。

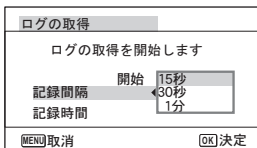
5 十字キー（▲▼）で「ログの取得」を選び、十字キー（▶）を押す

「ログの取得」画面が表示されます。



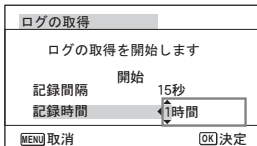
6 十字キー(▲▼)で「記録間隔」を選び、十字キー(▶)を押すポップアップが表示されます。

7 十字キー(▲▼)で記録間隔を選び、OKボタンを押す

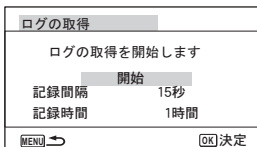


8 十字キー(▲▼)で「記録時間」を選び、十字キー(▶)を押す

9 十字キー(▲▼)で記録時間を選び、OKボタンを押す



10 十字キー(▲▼)で「開始」を選び、OKボタンを押す

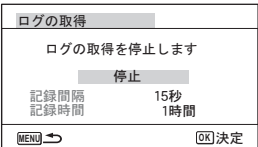


注意

- 一度記録したログを、ログファイルとしてSDメモリーカードに保存(p.10)、または破棄(p.12)するまでは新しいログを記録することができません。
- 「ログの取得」は「GPS測位」がオンになっている場合のみ設定できます。
- バッテリー残量が■(赤)になると、ログの記録は行われません。
- ログの取得中は撮影モードパレットから📷(インターバル撮影) / 🎞️(インターバル動画) モードを選択することができません。

ログの記録を中止する

ログの取得中に「ログの取得」を選択すると確認画面が表示されます。「停止」を選びOKボタンを押すとログの取得が中止になります。



取得したログを保存する

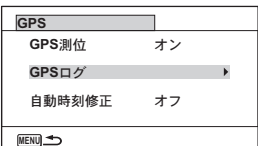
取得したログを、ログファイル(KML形式)として、SDメモリーカードに保存します。ログファイルは、SDメモリーカードのルートディレクトリにある「GPSLOG」フォルダに保存されます。

1 「設定」メニューから十字キー(▲▼)で「GPS」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

「GPS」画面が表示されます。

3 十字キーで「GPSログ」を選ぶ



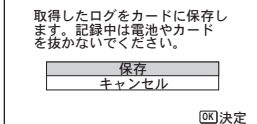
4 十字キー(▶)を押す

「GPSログ」画面が表示されます。

5 十字キー(▲▼)で「ログの保存」を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

6 十字キー(▲▼)で「保存」を選びOKボタンを押す



7 OKボタンを押す

「GPSログ」画面に戻ります

注意

- ログファイルはSDメモリーカードにのみ記録できます(内蔵メモリーには記録できません)。
- ログファイルは999ファイルまたはカードの容量いっぱいまで記録できます。

メモ

- ログファイルに記録されるデータは、経度・緯度・高度・日時です。
- 記録したログファイルをこのカメラで確認することはできません。パソコンに転送し、Google Earth、GoogleマップなどのKML対応のソフトウェアに取り込んでご確認ください。

取得したログを破棄する

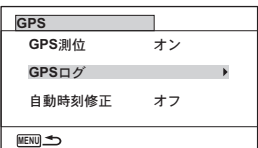
ログファイルをSDメモリーカードに保存せずに破棄します。

1 「設定」メニューから十字キー(▲▼)で「GPS」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

「GPS」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で「GPSログ」を選ぶ



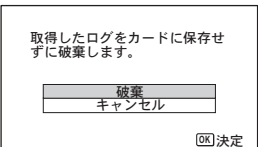
4 十字キー(▶)を押す

「GPSログ」画面が表示されます。

5 十字キー(▲▼)で「ログの破棄」を選び、OKボタンを押す

確認画面が表示されます。

6 十字キー(▲▼)で「破棄」を選ぶ



7 OKボタンを押す

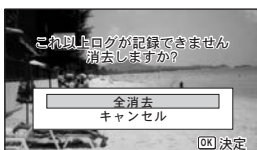
ログを消去する

SDメモリーカードに保存したログファイルの数が999ファイルになると、ログファイルを記録できなくなります。新しいSDメモリーカードをセットするか、以下の方法でログファイルを消去することで、新たにログファイルを記録できるようにします。

1 カメラの電源を入れる

「これ以上ログが記録できません 消去しますか?」のメッセージが表示されます。

2 十字キー(▲▼)を押し、「全消去」を選ぶ



3 OKボタンを押す

すべてのログファイルが消去され、撮影できる状態になります。

注意

「キャンセル」を選んだ場合、撮影を続けることはできますが、SDメモリーカードにログファイルを記録することはできません。

メモ

再生起動モードで電源を入れた場合は、ログファイル消去後、再生モードに戻ります。

時刻を自動で修正する

GPSで取得した時刻情報を利用して、カメラの時刻を自動修正します。

1 「設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「GPS」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

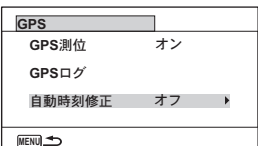
「GPS」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で、「自動時刻修正」を選ぶ

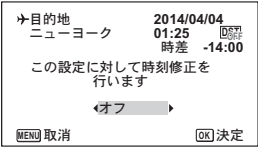
文字の色が薄くなっていて選べない場合は、「GPS測位」をオンに設定してください。

4 十字キー(▶)を押す

「ワールドタイム」の設定情報が表示されます。



5 十字キー(◀▶)でオン/オフを切り替える



6 OKボタンを押す

「GPS」画面に戻ります。

注意

- 「自動時刻修正」は「GPS測位」がオンになっている場合のみ設定できます。
- 以下の場合は自動時刻修正を行いません。
 - 動画撮影中
 - 動画再生中
 - スライドショー再生中
 - インターバル撮影時
 - タイマー設定時

電子コンパスを調整する(キャリブレーション)

キャリブレーションとは、方位情報を正確に取得するために行う調整のことです。電子コンパスの機能を使う前に必ず行ってください。

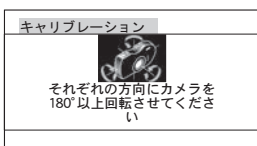
1 「設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「電子コンパス」を選ぶ

2 十字キー(▶)を2回押す

「キャリブレーション」画面が表示されます。

3 カメラを落とさないよう腕にストラップを巻き付け、左右、上下、左右回転それぞれの方向にカメラを180°以上回転させる

キャリブレーションに成功すると、「完了」と表示されます。



4 OKボタンを押す

「設定」メニューに戻ります。

メモ

- キャリブレーションはカメラを持ち変えながらぐるぐる回す必要はありません。
- キャリブレーションが成功しない場合は、カメラ(GPS)を持つ方角を変えたり、持つ角度を少し変えるなどして再度行ってください。
- 場所の移動や時間の経過などにより、正常な方角を指さなくなる場合がありますので、定期的にキャリブレーションをし直すことをお勧めします。
- GPSの受信状態に関係なくキャリブレーションは行えます。
- 環境磁場の影響が大きい場所ではキャリブレーション成功の確率が低くなったり、終わっても正常な方角を指さない場合があります。同様の理由で室内ではキャリブレーションに影響を及ぼす場合があります。
- 火山地帯など地磁気異常のある地域ではキャリブレーション成功の確率が低くなったり、終わっても正常な方角を指さない場合があります。
- キャリブレーションを1分以上行くと、「正しく処理できませんでした」と表示されます。その場合は、再度キャリブレーションを実行してください。